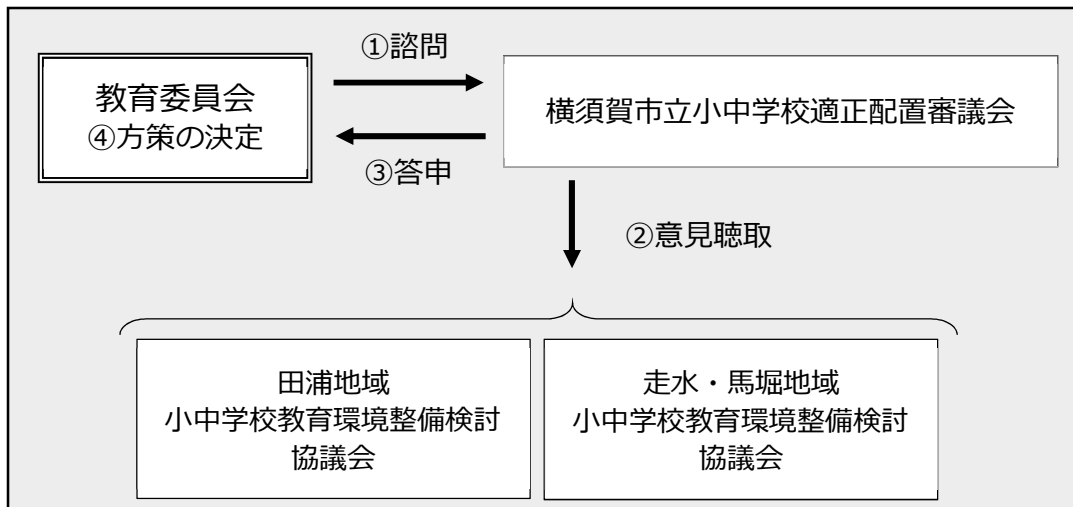


1 教育環境整備における検討体制



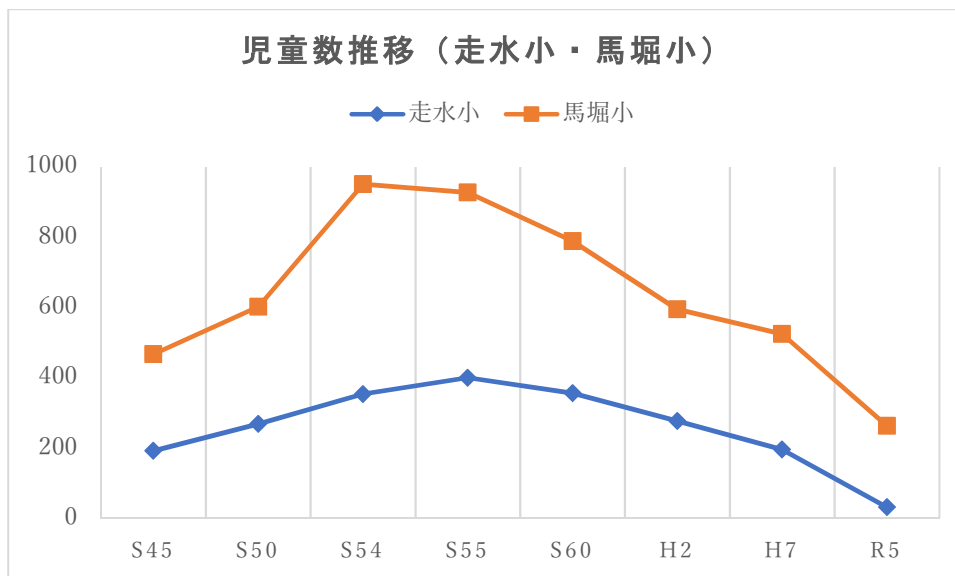
2 走水・馬堀地域の小学校の現状

(1) 学校の状況

(令和5年5月1日現在)

学校名		走水小				馬堀小			
		児童数			学級数	児童数			学級数
児童・学級数	男	女	計	男		女	計		
学年	1年	2	2	4(0)	1	23	19	42(2)	2
	2年	1	0	1(0)		17	25	42(3)	2
	3年	2	3	5(0)	1	27	19	46(3)	2
	4年	5	5	10(3)	1	16	17	33(1)	1
	5年	4	0	4(1)	1	28	26	54(4)	2
	6年	2	6	8(1)	1	25	21	46(4)	2
	特支	内数(5)			2	内数(17)			5
	計	32			7	263			16
教員数 (定数)		11				21			
学校施設	校地面積	8,688,82m ²				17,599,59m ²			
	普通教室	11教室				23教室			
	プール	なし				あり			
設置年月日		明治6年(1873年)9月1日				昭和26年(1951年)10月1日			

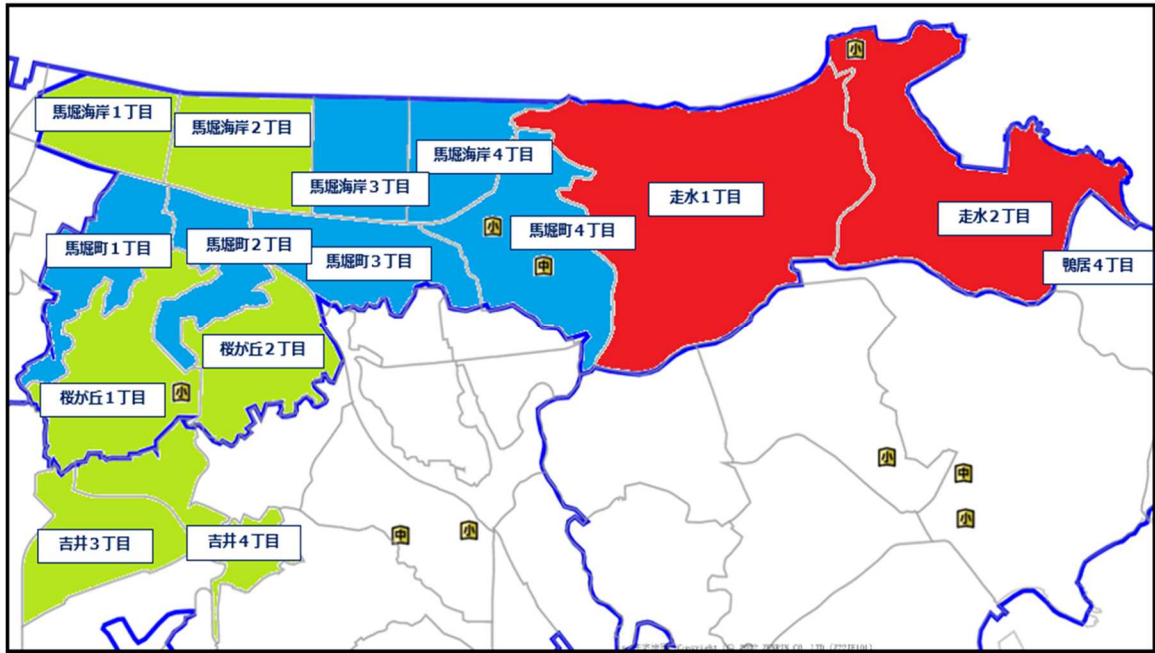
(2) 児童数の推移



(3) 児童数・学級数の将来推計

学校名	児童・学級数		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
走水小	児童数		32	30	32	31	31	36	37
	学級数	通常	5	5	5	5	5	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2	2
馬堀小	児童数		263	253	236	249	239	231	223
	学級数	通常	11	11	11	12	11	10	9
		特支	5	5	5	5	5	5	5

(4) 小学校の通学区域図

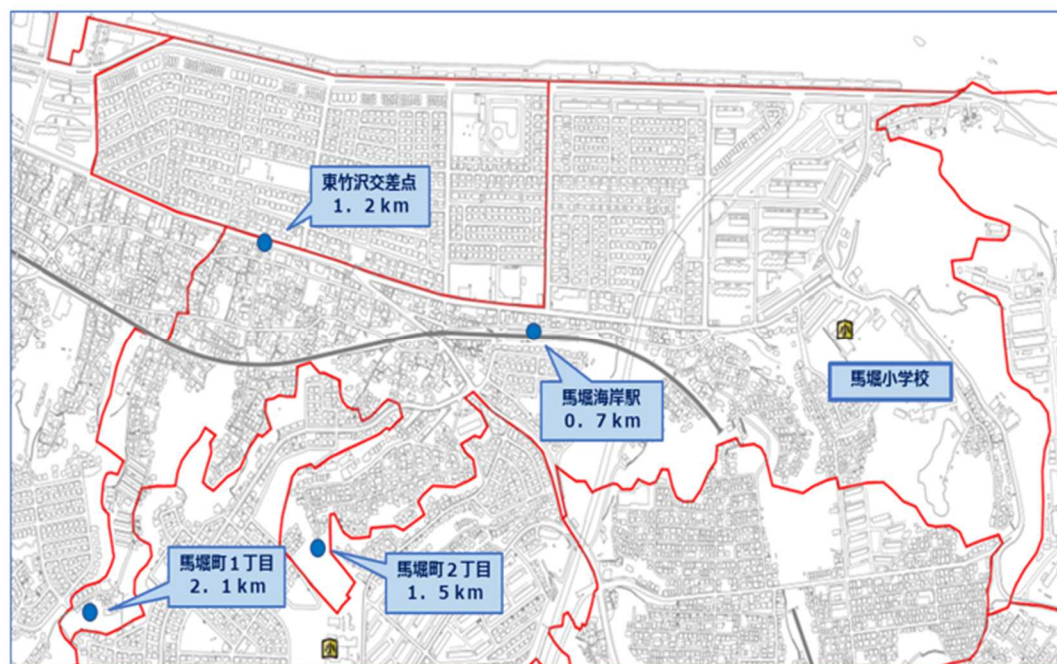


3 統合後の通学距離（馬堀小学校までの通学距離）

（1）走水地域



（2）馬堀地域



4 統合後の状況

児童・学級数		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
児童数		295	283	268	280	270	267	260
学級数	通常	12	12	12	12	12	12	12
	特支	5	5	5	5	5	5	5
	合計	17	17	17	17	17	17	17

5 横須賀市立小中学校適正配置審議会の概要

(1) 委員構成

No.	氏名	区分	役職等
1	出石 稔	識	関東学院大学法学部教授
2	上田 滋	関	横須賀市連合町内会代表
3	黒川 理美	校	小学校校長会代表
4	櫻井 聡	保	横須賀市PTA協議会会長
5	外川 翔大	教	三浦半島地区教職員組合書記長
6	藤枝 聡	識	立教大学総長室次長
7	宮田 丈乃	教	横須賀市保育会会長

(敬称略 50音順)

区分欄

「識」学識経験者、「関」関係団体の代表、「保」保護者、
「校」小中学校の校長、「教」教育委員会が必要と認める者

(2) 開催状況

- 第1回 令和4年 5月 23日 (月)
- 第2回 令和4年 12月 26日 (月)
- 第3回 令和5年 6月 26日 (月)
- 第4回 令和5年 7月 31日 (月)
- 第5回 令和5年 9月 14日 (木)
- 第6回 令和5年 10月 12日 (木)

6 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会の開催状況

- 第1回 令和4年 5月 30日 (月)
- 第2回 令和4年 7月 19日 (火)
- 第3回 令和4年 10月 14日 (金)
- 第4回 令和5年 1月 23日 (月)
- 第5回 令和5年 3月 17日 (金)
- 第6回 令和5年 5月 25日 (木)
- 第7回 令和5年 11月 9日 (木)

7 走水・馬堀地域説明会の開催状況

- 第1回 令和5年 11月 20日 (月) 走水小学校体育館
- 第2回 令和5年 11月 21日 (火) 大津コミュニティセンター
- 第3回 令和5年 11月 25日 (土) 大津コミュニティセンター

(写)

令和5年(2023年)10月31日

横須賀市教育委員会
教育長 新倉 聡 様

横須賀市立小中学校適正配置審議会
委員長 出石 稔

走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について（答申）

令和4年5月23日付け、横教政第14号により諮問を受けました走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について下記のとおり答申します。

記

1 答申内容

走水小学校区を馬堀小学校区に編入する方策が妥当である。

2 理由

走水・馬堀地域においては、走水小学校と馬堀小学校の学校規模の小規模化が課題となっており、特に走水小学校においては複式学級となっていることから、喫緊の課題を解決するための方策として判断した。

3 その他資料

- (1) 横須賀市立小中学校適正配置審議会における意見の概要 ※別添資料1
- (2) 参考資料 ※別添資料2

以上

付言

教育環境整備の方策を実施するに当たっては、両校の児童が円滑に新たな環境で学べるようにすることや通学の安全を確保する方策を講じる必要があると考えます。

また、通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後は、全市的な遠距離通学に対する方策の検討が必要であることを申し添えます。